



2014年12月期 第1四半期 決算説明会

2014年 5月 15日
株式会社 SUMCO
(コード番号:3436)

For All Innovation

1

見通しに関する注意事項



本資料は一般の株主及び投資家に対する情報提供を目的に作成されたものであり、いかなる法域においても、当社が発行する証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、本日現在当社が利用可能な情報及び一定の前提又は仮定に基づくものであり、実際の業績等は、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報と大きく異なる可能性があります。



- 総括・市場環境
- 2014年度第1四半期 決算概要(連結)
 1. 2014年度第1四半期 業績
 2. 営業利益増減分析
 3. バランス・シート
 4. キャッシュ・フロー
- 2014年度上期 業績予想(連結)
 1. 2014年度上期 業績予想
- 参考資料



総括・市場環境

取締役社長 橋本 眞幸

■ 2014年度第1四半期 決算概要

(金額単位: 億円)	2013年度1Q 実績(2-4月)	2014年度1Q 実績(1-3月)	増減
売上高	466	509	+43
営業利益	41	50	+9
経常利益	12	40	+28
純利益	5	28	+23

■ 2014年度上期 業績予想の修正

(金額単位: 億円)	2014年度上期 従来予想	2014年度上期 修正予想	増減
売上高	1,020	1,070	+50
営業利益	90	120	+30
経常利益	65	100	+35
純利益	45	75	+30

2-1. 市場環境

■ 第1四半期の市場環境

- ✓ シリコンウェーハ需要は例年の季節調整も無く、300mm・小口径ともに昨年秋から順調に回復・拡大

300mm

- ・ スマートフォンは新興国向けで需要拡大、中国のLTE化で機能向上
- ・ データセンター(サーバー・ワークステーション等)は堅調
- ・ パソコンは底打ちし、回復の兆し
- ⇒ ロジック・メモリーともに好調

小口径200mm以下

- ・ 車載を始めとした民生・産業向けの需要堅調

■ 今後の見通し

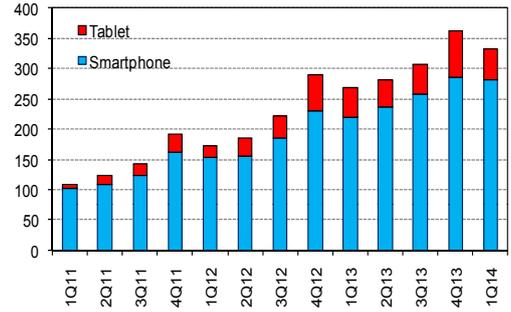
- ✓ 2Qは1Qの市場環境が継続
シリコンウェーハ需要は1Qを上回る強い成長が予想される
- ✓ 3Qも顧客の見通しは強いが、4Qは需要の前倒しによる数量変動や季節調整も懸念される

2-2. 300mmのドライバ(スマートフォン・タブレット)

(足許の状況)

- ✓ スマートフォン・タブレットの数量増(YoY)が継続
- ✓ スマートフォンの成長率は2極化
 - ハイエンド品の数量は伸び悩むも、機能向上
 - ローエンド品は機能の簡素化・低価格化による新たな購買層の開拓により大幅な数量増加
- ✓ ロジック(AP)は数量増に比例し好調
- ✓ メモリーは1台当搭載量は伸び悩むも、台数増により増加

(百万台) スマホ・タブレット出荷台数(四半期別)



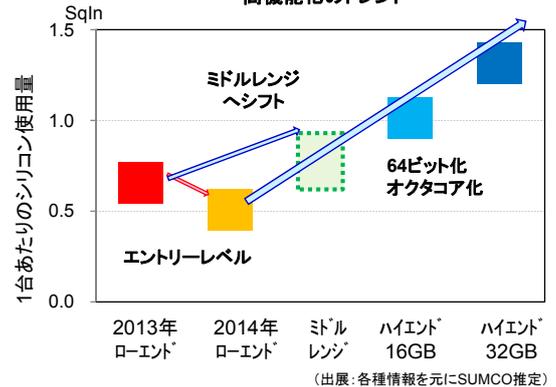
(出展: IDC公表値からSUMCO作成)

(今後の見通し)

- ✓ ハイエンドは64ビット化、オクタコア化と更なる高機能化へ
- ✓ ローエンド仕様のエントリーユーザーがミドルレンジ仕様ユーザーへシフト
- ✓ いずれの場合も大画面・高画素・高性能化、LTE対応品により、1台当りのシリコン消費量は増加

⇒ シリコン消費量は中期的に増加基調が続く

高機能化のトレンド



(出展: 各種情報を元にSUMCO推定)

For All Innovation

2-3. 200mm以下の成長ドライバ(車載半導体)

2013年 小口径シリコンウェーハ消費量

		出荷台数(百万台/年)	消費面積(Sqln)	200mm以下に占める割合
自動車	EV/HV	1.8	30.0	22%
	内燃	78.0	10.0	
スマートフォン		1,010.0	0.3	8%

(各種情報を元にSUMCO推定)

マルチメディア

MOSFET、アナログIC、パワーIC
カーナビゲーションシステム
ETCシステム
オーディオシステム

ボディ制御

MOSFET、IGBT、パワーIC
エアコンシステム
エアバッグシステム
加速度センサー
ランプ制御
セキュリティシステム

パワートレイン制御

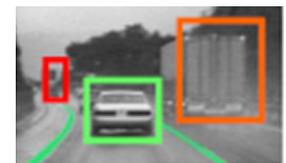
圧力センサー、パワーIC
エンジン制御システム
ガソリン・ディーゼル
HEVモータ制御
IGBTモジュール、IPM、ドライブIC
トランスミッション制御システム
パワーIC



ECU
(Electronic Control Unit)

安全制御

加速度センサー、MOSFET、パワーIC
横滑り防止システム
パワーステアリング制御システム
電子制御ブレーキシステム
トラクション制御システム



先進運転支援システム(ADAS画像認識)

For All Innovation

2014年度第1四半期 決算概要(連結)

取締役副社長 瀧井 道治

For All Innovation

9

1. 2014年度第1四半期 業績(連結)

(金額単位: 億円)	2013年度 1Q実績 (2-4月)	2014年度 1Q実績 (1-3月)	増減
売上高	466	509	+43
営業利益	41	50	+9
営業外損益	▲29	▲10	+19
経常利益	12	40	+28
特別損益	▲1	-	+1
税金費用等	▲6	▲12	▲6
純利益	5	28	+23
設備投資額(検収ベース)	15	25	+10
減価償却費	55	47	▲8
EBITDA (注)	99	101	+2
為替レート(円/US\$)	92.7	103.2	+10.5

(注) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

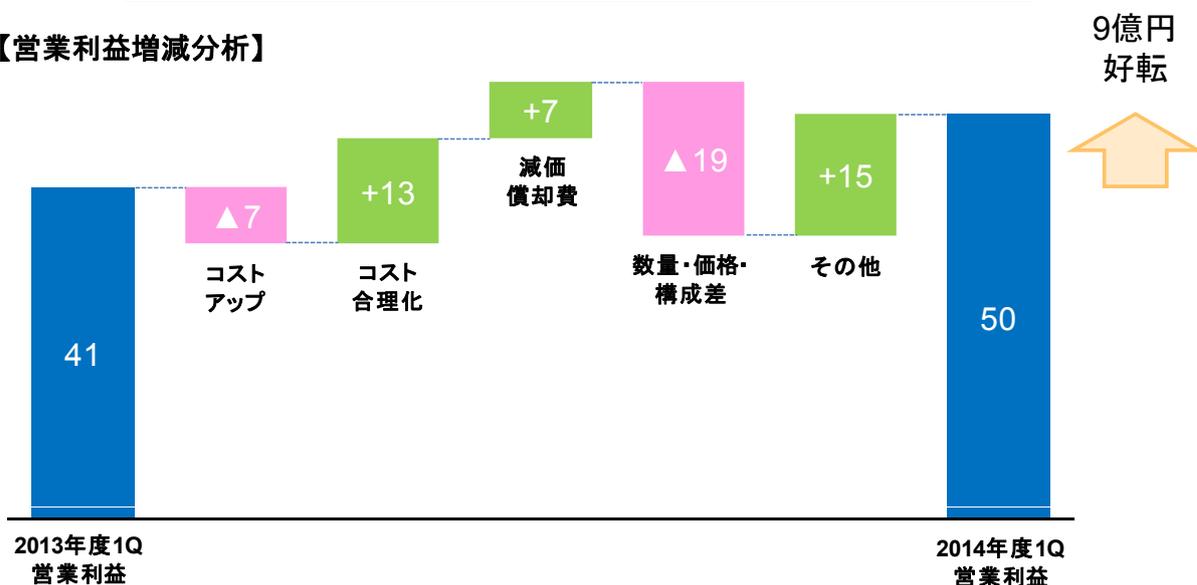
For All Innovation

10

2. 営業利益増減分析 (2013年度1Q実績→2014年度1Q実績)

(金額単位: 億円)	2013年度1Q (2~4月)	2014年度1Q (1~3月)	増減
売上高	466	509	+43
営業利益	41	50	+9
為替(円/US\$)	92.7	103.2	+10.5

【営業利益増減分析】



For All Innovation

11

3. バランス・シート(連結)

(金額単位: 億円)	2013年 12月末	2014年 3月末	増減
現預金等	628	653	+25
棚卸資産	1,426	1,442	+16
有形・無形固定資産	1,896	1,851	▲45
繰延税金資産	57	52	▲5
その他	978	942	▲36
総資産	4,985	4,940	▲45
有利子負債	2,388	2,393	+5
その他	649	603	▲46
負債	3,037	2,996	▲41
資本金	1,366	1,366	-
資本剰余金	156	156	-
利益剰余金	159	174	+15
その他	267	248	▲19
純資産	1,948	1,944	▲4
自己資本比率	33.7%	34.0%	+0.3%
1株当たり純資産額(円)	473.4	476.6	+3.2
D/E レシオ(グロス)	1.4	1.4	0.0
D/E レシオ(ネット)	1.0	1.0	0.0

For All Innovation

12

4. キャッシュ・フロー(連結)

(金額単位:億円)		2014年度 1Q
	税引前純利益	40
	減価償却費	47
	小計	87
	棚卸資産増減	▲12
	その他	▲24
営業	キャッシュフロー	51
	設備投資(検収ベース)	▲25
	設備債務増減他	7
投資	キャッシュフロー	▲18
フリー	キャッシュフロー	33

2014年度上期 業績予想(連結)

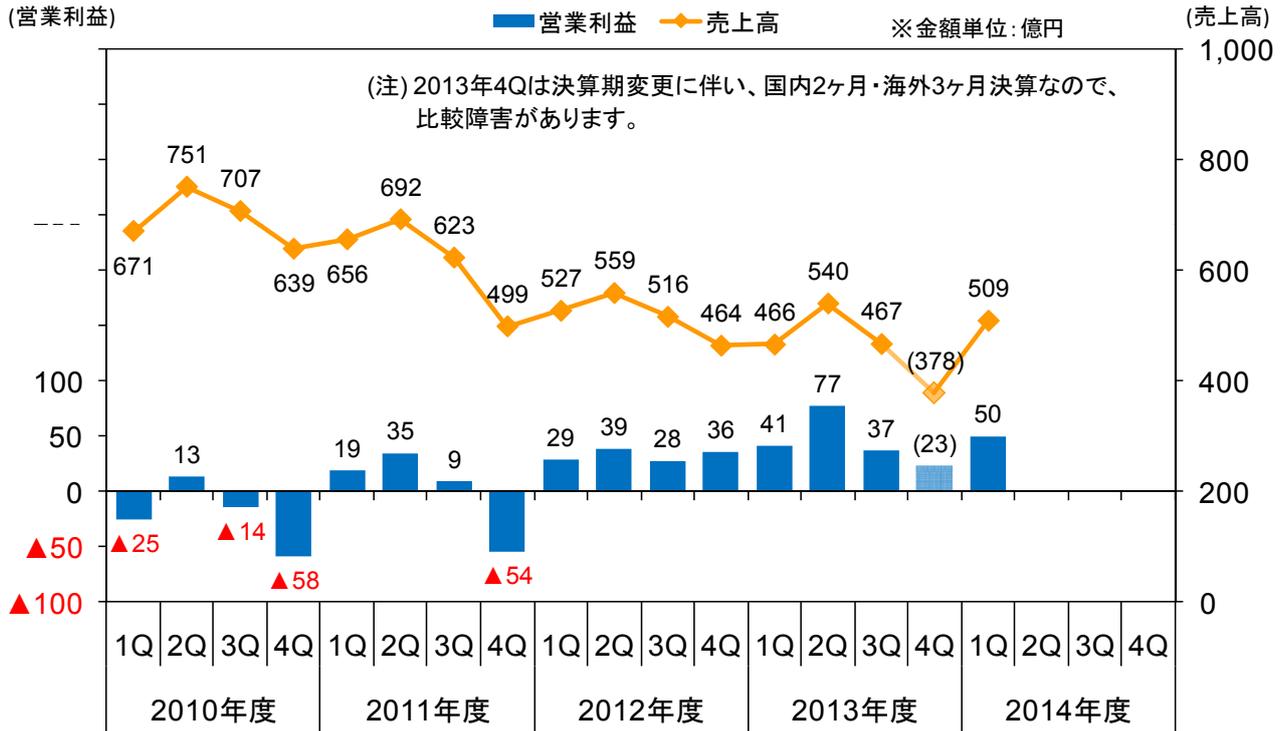
1. 2014年度上期 業績予想(連結)

(金額単位: 億円)	2014年上期 従来予想 (2014.02.14)	2014年上期 修正予想 (2014.05.15)	増減	
売上高	1,020	1,070	+50	
営業利益	90	120	+30	
営業外損益	▲25	▲20	+5	
経常利益	65	100	+35	
特別損益	-	-	-	
税金費用等	▲20	▲25	▲5	〈参考〉
純利益	45	75	+30	年間予想
設備投資額(検収ベース)	50	50	0	120
減価償却費	95	95	0	200
EBITDA (注)	190	220	+30	
為替レート(円/US\$)	103.0	103.0	+0.0	

(注) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

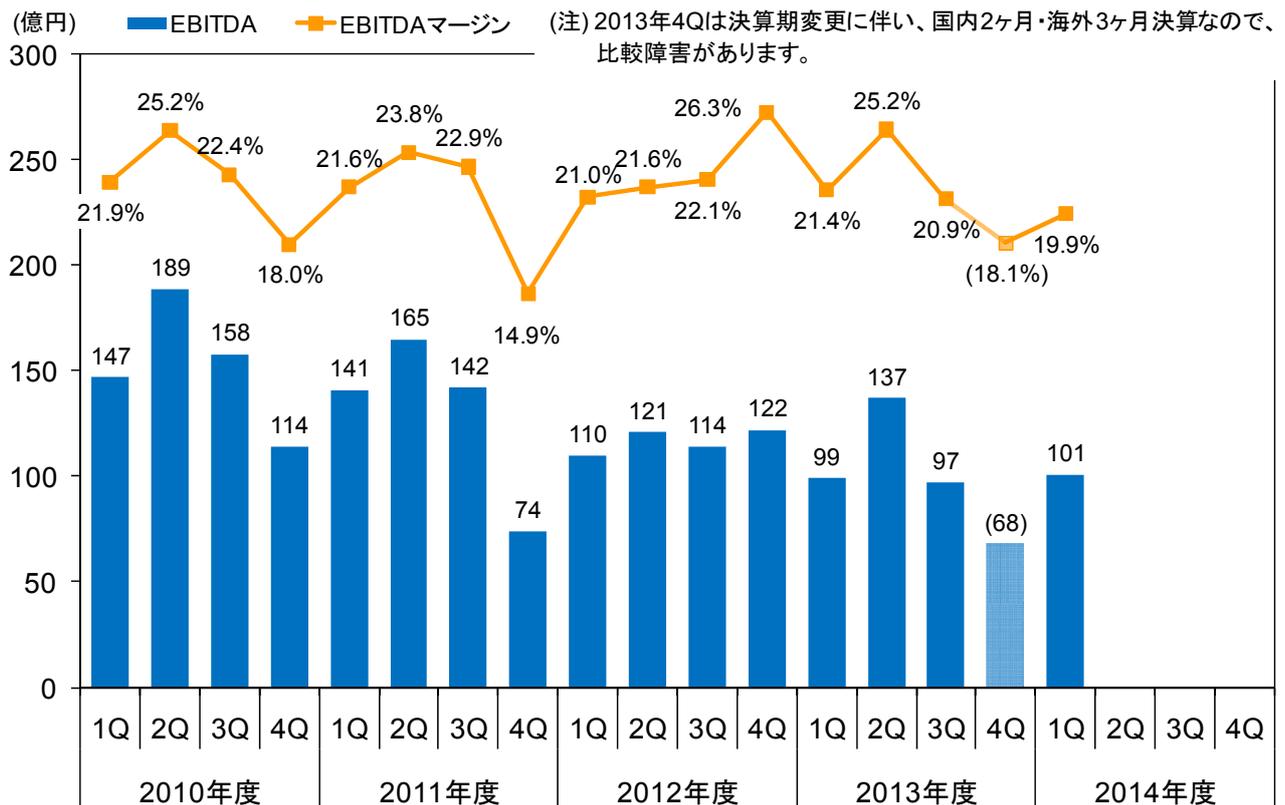
参考資料

参考資料: 四半期業績推移(連結)



For All Innovation

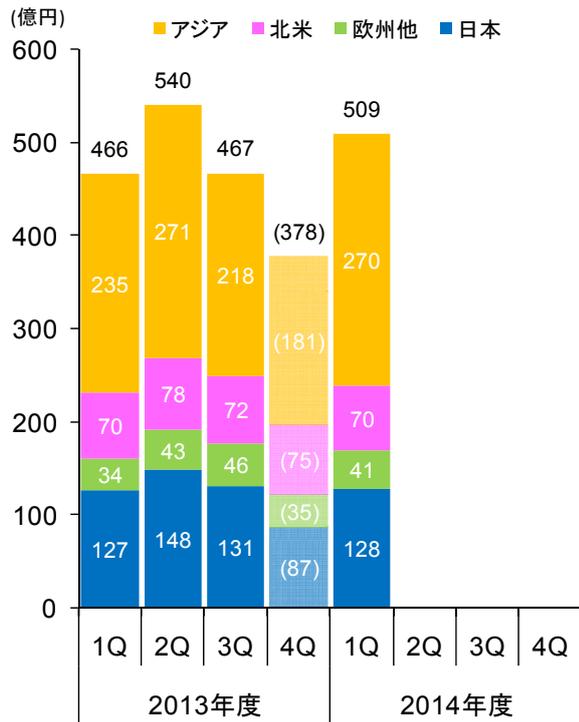
参考資料: EBITDA(償却前営業利益)



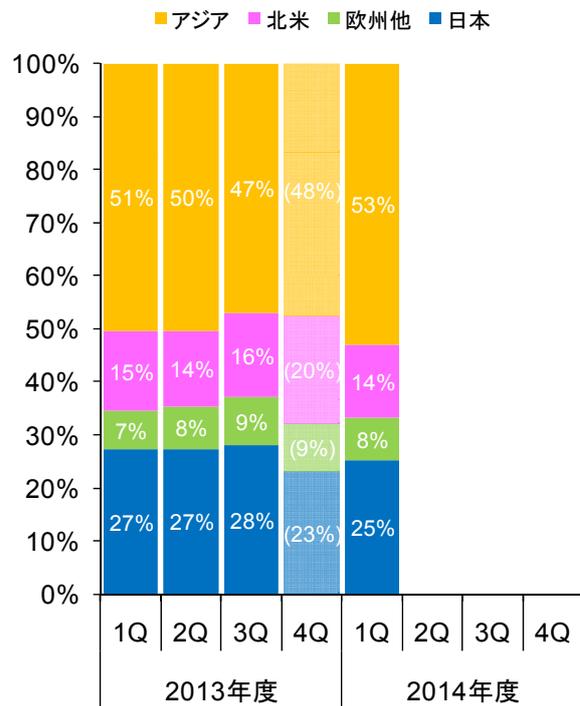
For All Innovation

(注) EBITDA = 営業利益 + 営業内減価償却費 + のれん償却額

■ 地域別売上高



■ 地域別売上比率



For All Innovation

(注) 2013年4Qは決算期変更に伴い、国内2ヶ月・海外3ヶ月決算なので、比較障害があります。



URL <http://www.sumcosi.com/>

For All Innovation